



若小便り



若松小HP用QRコード

令和3年度 若松小学校便り第12号 令和4年3月24日(木) <http://wakamatu.lolita-punk.jp/>

令和3年度重点教育目標 「自尊感情を高め、自ら学び、考え、行動する子どもの育成」

ありがとうございました / My Song by Keith Jarrett Quartet 1978

校長 本谷 弘之

『私は言う、愛とは花だと。そしてあなたは、そのたった一つの種。』

～ 中略 ～

ただ思い出して。冬には厳しい雪のはるか深くに横たわる種も、

やがて太陽の愛(光)を浴びて、春にはバラの花を咲かせることを♪』

抜粋引用「ザ・ローズ」by ベット・ミドラー

とうとう若松小学校学校便りも、これが最後の発行となります。閉校が決まってからの若松小学校は、コロナ・ウィルス感染対策とともに歩んできました。しかし、極小規模校ゆえの最大のメリットは、歩みを止めずに進む、ということでした。他校が、様々な行事の中止や縮小で、授業自体を進めるのもままならない時期であっても、若松小学校では、PTA活動に制限はあったものの、子どもたちの活動はほぼ全て実施することができました。運動会や学習発表会では、若干の時間短縮はしたものの、例年どおり保護者や地域の方々にご参加いただき開催することができました。その他にも、この2年間は、新しいことにどんどんチャレンジしていきました。PTA研修の一環として行った火薬エンジンをつんだロケットの制作・打上に心を躍らせ、ドローンを使ったプログラミング学習では、定められたコースをたどるために目的意識を持ち筋道を立てたプログラミングが必要になることを学びました。オーストラリアのタスマニア州にある小学校、東京都や兵庫県の小学校とのオンライン交流では、自分達の生活や文化の違いをリアルに感じました。一日防災学校では、地域の方々と協働で避難所設営を行うことで地域を身近に感じ、海上保安署の見学では、これまで接する機会がなかった職業を知ることができました。地域のお祭りがなくても、若小独自の縁日を開いて思い出作りを行いました。親子で聴くミニ・コンサートでは、ジャズという生の音楽に触れ、ジャズ・バンドとの共演まで経験することができました。日曜地域参観日では、そば打ち体験をさせてくださり、美味しいおそばを堪能できました。そして、卒業を祝う会では、未熟ながら、教員バンドがロックを演奏して見せもしました。子どもたちはどう感じてくれたでしょうか。行った取り組みは他にもまだまだありますが、極小規模だからできない、ではなく、極小規模じゃなければできないことを次々に企画・実践することは、先生方も大変だったことと思います。しかし、ここまで充実した毎日を送ることができたのは、やはり保護者や地域の方々の理解とご協力があったおかげです。また、せたな町教育委員会や、檜山教育局にも様々な形で応援やご協力をいただきました。どれだけ感謝の言葉を連ねようとしても、私にはこの気持ちをうまく表現できるだけの語彙は持ち合わせていません。ただ言えるのは「ありがとうございました」の一言です。

子どもたちは今後、それぞれに歩む道が異なることとなりますが、若松の子どもであることに変わりはありません。これまで同様、地域の方々には、この雪の多かった冬を乗り越えた種たちが咲かせた、新たな5つの花への見守りと声かけをよろしくお願い致します。

※ キース・ジャレットの暖かなピアノのイントロに導かれて出てくるヤツガムバリのサクソによるメロディーは、透き通った冷たい音色の中にも限りない優しさを感じさせる。リズムや起承転結のはっきりとした曲構成から、ジャズというジャンルでは括りきれないこの愛らしい小品は、私がこれまでに聴いた音楽で、迷わずに1番好きと言い続けられる楽曲。

これまでありがとうございました

若松小学校2年 I. M.

田うえをやりはじめた時、いねがこんな小さくて、お米ができるところがあるのかなぁと思いました。でも、いねかりをやるためにいねを見に行ったら、ちゃんとお米ができていてすごいなぁと思いました。ぼうさい学校の時、ベッドを地いきの人たちとたてて、ダンボールがジャンプをしてもこわれないぐらいがんじゃないかなぁと思いました。はじめて見て作ったので、作れるのかなぁと思いました。田うえもぼうさい学校も、みんなでやったからできたと思いました。



若松小学校3年 O. T.

運動会の大玉ころがしが楽しかったです。紅白リレーもやって、ぼくたちの組が勝って良かったです。お楽しみちゅうせん会で当たって、よかったです。しゅうかく感しゃ祭では、発表物をその日までギリギリなんとか書き終えました。マカロンやハンバーグなど、色々な物をもらいました。美味しかったです。協力してくれて有難うございました。



若松小学校5年 Y. R.

地域の方との合唱では、私たちと地域の方がパートごとに分かれて歌いました。ぼくたちと合唱するために、練習していただき、ありがとうございました。また、いつか歌えたら歌いましょう。

地域参観日では、ぼくたちの勉強の様子を見に来てくれました。たくさんの方が来てくれたことに、びっくりしました。温かく見てくれてありがとうございました。



若松小学校6年 I. K.

フレンドリーランでは、いつも沿道から応援してくれて、ありがとうございました。走っている途中、何人かに応援してもらい、うれしかったです。そのおかげで、元気強く走ることができました。

農業センターでは、阿部さんなどに種の植え方や育て方を教えてもらいました。他にも自分たちの育てる野菜を毎回、用意してもらいました。いつも、準備していただき、ありがとうございました。



若松小学校6年 U. Y.

学習発表会では、地域の人達が1つ1つの発表の後に、たくさんの拍手をしてくれて、うれしかったです。発表中は、成功できるかどうか、とても緊張していたので、最後に地域の人達が拍手してくれて安心しました。

特殊サギ防止ボランティアでは、地域の人達に特殊サギに気を付けるように呼びかけをしました。家に入ると、今まで地域の人達に渡したステッカーなどが、ちゃんと玄関に張っていてくれて、うれしかったです。



卒業式等、子どもたちの3月行事の様子は、学校ホームページでご覧下さい。

校長 本谷 弘之

若松小学校の最後の2年間、それは私の退職までの2年間。そして、コロナ禍での2年間。自分に悔いを残したくない。それは、子どもたちに、考え得る限りの、若松小学校にいたからこそできる経験をさせたい、学力や体力を身に付けさせたい、という思いと同義でした。何よりも幸せだったのは、この学校には、その思いを叶えてくれる職員がいたということ。それを支えてくださる保護者と地域の方々がいらしたということ。本校とオンライン交流を行った学校の子ども達が、本校の取り組みを聞いて「うらやましい」と本音をもらしていたことが嬉しく感じました。学校HPを見ている道内や他県の同僚が、「あの〇年生の子の、この半年の成長はすごいね」などと伝えてくれる言葉は、我がことのように誇らしく感じました。誰かの真似をするのではなく、十人十色の個性を持った子どもたちに囲まれ、その子どもたちの成長を感じ取ることができたことは、私にとって一生の宝物となりました。お世話になりました。ありがとうございました。



2・3年担任 青木 志暢

3年間という短い間でしたが、気持ちは6年くらいいたような錯覚に陥るくらい、実のある日々を過ごさせて頂きました。ここ若松は、地域の皆さんの温かい目や愛情が子どもたちに注がれていました。若松は、学校から一歩外へ出ると、学習する材料がたくさんあります。自然の中での田植え、稲刈り、農業センターの体験学習、郵便局、駐在所、イエローパレスや神社などの公共施設と、町探検の学習で子どもたちとよく歩きました。JAの皆さんにじゃがいもやお米を提供して頂き、ボランティア活動もとても充実していました。このような経験はなかなかできないことと思っています。コロナ禍でなかなか出来なかった「そば打ち」を今年度ようやく出来たこともうれしい思い出です。その他に、学習発表会でカラオケ会や老人会の皆さんと歌った合唱、難易度が高い曲に対して一生懸命に練習をしてくれたことも感謝しています。まだまだ書き切れないことがたくさんありますが感謝の気持ちでいっぱいです。最後に保護者の皆様、私たちの力ではとてもできない行事やイベントへのサポートやご協力をありがとうございました。この3年間で出会えた若松小学校の子どもたちをいつまでも応援しています。



5・6年担任 正田 直之

若松小学校で過ごした3年間は、本当に幸せでした。特に、閉校までの1年間は、「子ども達に最高の1年を」という特別な思いを胸に、充実した日々を送ることができました。若松小学校には、いつも子ども達の元気な声と笑顔があふれていました。行事に向けて、運動や踊り、器楽演奏などを一生懸命に取り組む子ども達の姿勢が大好きでした。子ども達にとって、この若松は、自然に恵まれた「生きた教材」です。森林学習や田植え、野菜の収穫など触れることができる本物との出会いを体験することができました。子ども達が楽しく、心に残る活動をする事ができたことを嬉しく思っています。そして、これらの教育活動において、いつも温かく支援して下さった保護者や地域の皆様、いつも、ありがとうございました。学習発表会や地域参観日、閉校記念式典に向けての実行委員会など、子どものために、ご尽力いただき感謝いたします。保護者地域と対戦した運動会は、私の大切な思い出です。本当にありがとうございました。



公務補 馬場 喜市

10年前の3月。役場からの回覧にて若松小学校公務補の再募集の案内がありました。自分には関係ない事だと思っていましたが、息子が「おやじ、若小で公務補募集しているぞ」との事。その時自分は、冗談だと思い聞き流してしまいました。2日後に息子から「願書出したのか？」と言うから「いや」と答えたら「出してみれば？」と言われて提出しました。面接日の案内が届き、会場へ行ってみたら、2人の面接者がいて運が良く、私に採用通知が届き、不安を胸に足を運びました。先生方に挨拶をし、その時の校長先生は坂本景子校長でした。とにかくどんな仕事をするのか細かく聞きました。5月には草刈りが始まり、私はナイロンヒモを使った事がないので少し苦労しました。6月には運動会。PTAとして、ただ参加していた時とえらい違い、いくつかの行事を終えて1年間が過ぎるのはあつという間でした。学校にいと、先生方の行動が良くわかり、想像していたより先生の仕事って大変だと言う事を思い知りました。行事の度に先生方は大変なご苦労をされている様です。また、自分的に嬉しかった事は、町内の人や農家の人に草刈りをした後を見て「きれいに刈っているね」と褒めてもらったことです。もう一つ嬉しい事は、先生方に恵まれたことです。10年間勤めることが出来たのも、先生方の支援と感謝申し上げます。後ろ髪引かれる思いで3月31日を迎えます。10年間ありがとうございました。



スクールヘルス・リーダー M. H.

月に一度でしたが、若松小の子どもたちの健康サポーターのつもりで三年間、務めさせていただきました。子どもたちは元気いっぱい私の方々がいつも元気をもらって帰っていました。

思い出のひとつに学習発表会の全校での器楽演奏があります。本番一ヶ月前、たどたどしく演奏していたはずなのに発表会当日には聴く人を感動させる、すばらしい演奏をしてくれました。

若小の子どもたちはとても心が安定していると思いました。それは子どもたちが保護者の方々、地域の方々にちゃんと見守られている実感があるからだと思いました。運動会での保護者・地域の方たちの積極的な協力体制と温かい応援はそれを物語っているように思えました。

閉校はちょっと寂しいですが、最後まで関わることができて光栄です。ありがとうございました。



JALT M. A.

9年前の春、私は外国語指導助手として初めて若松小学校を訪れました。素敵な校舎だなと思ったことや、誰だろうという表情を浮かべながらも元気に挨拶をしてくれた子どもたちのことなどが思い出されます。

英語を話すということに、少し恥ずかしさを感じていた子、どんどん元気よく話してくれる子、たくさんの子に出会うことができました。また、卒業生の中には、成人を迎えている子もいるのだと思うと感慨深いものがあります。

これまでに練習してきたことが、なにか少しでも子どもたちの役に立てていることを願い、若松小学校での最後のご挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



音楽技芸講師 H. K.

120年の歴史を重ねた若松小・・・その最後の一年間、音楽の授業で子どもたちとの時間をもつことが出来て、私にとって大きな財産となりました。たくさんの行事がありましたが、その中かなりの確率!?で音楽が含まれていたため、授業には常に発表の事を見据えた形で進めました。それが子どもたちのモチベーションの維持につながったように感じます。ステージでの発表は、自主性、表現力、協調性など多くの力を身につけることが出来るので、大きな自信になっていることと思います。また、一人一人、響きの良いいい声を持っているのも魅力です。歌はもちろん、音読の明確さは聞いていて清々しい気持ちになります。5人のこれからの成長が本当に楽しみです。子どもたちからの刺激を受け、背筋が伸びる思いで向き合ってきて、私も大いに勉強になった貴重な一年でした。ありがとうございました。



学校図書室支援員 H. J.

図書室支援員としておじゃまするようになり5年。児童数も5人となりましたが、若小の子ども達は、とても元気で明るく、学校の雰囲気もとても素敵です。支援日が、とても楽しみでした。

本を通して「学び」や「楽しさ」「本へのやさしさ」が少しでも伝えられていたら幸いです。引き続き、本を好きでいて下さいね。

若小の皆さん、ありがとうございました！



最後に、青木先生のコラムを予定していましたが、紙面配置の関係で割愛させていただきました。